

焼却処理の工程・設備概要

①仮設前処理テント

汚泥と覆土に混入している**大きな石や草木の根**などを除去。負圧管理、集じん装置の設置、活性炭脱臭装置の設置による安全対策を実施。



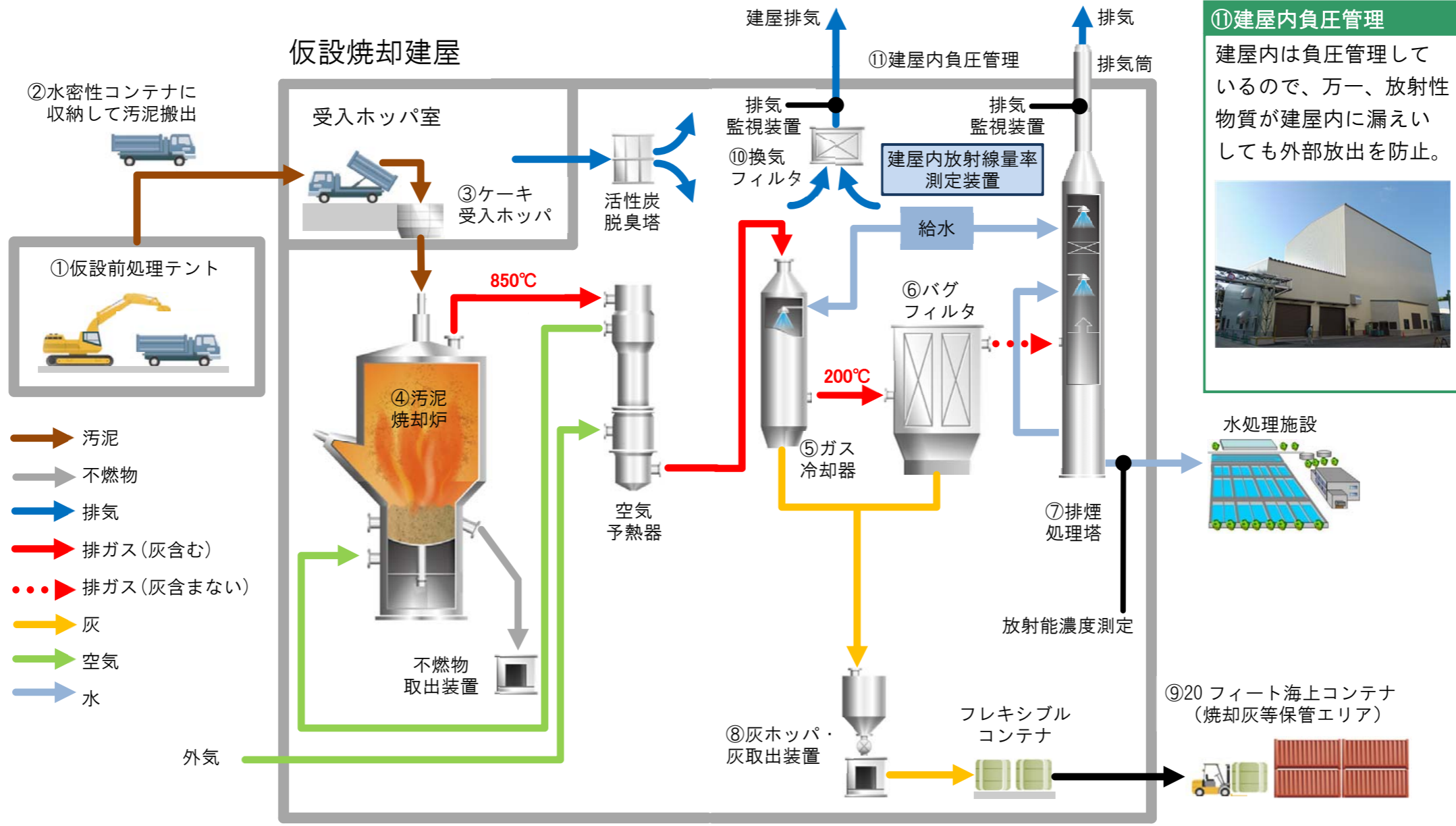
②水密性コンテナ

仮設前処理テントから受入ホッパ室までの汚泥運搬は、**水密性コンテナ**に収納することで臭気・飛散等を防止。



③ケーキ受入ホッパ

仮設前処理テントから搬出された汚泥を貯留。



- 汚泥
- 不燃物
- 排気
- 排ガス(灰含む)
- 排ガス(灰含まない)
- 灰
- 空気
- 水

⑪建屋内負圧管理

建屋内は負圧管理しているので、万一、放射性物質が建屋内に漏れいしても外部放出を防止。



⑩換気フィルタ

建屋からの排気中に含まれる粉じんを捕集。



⑨20 フィート海上コンテナ

フレキシブルコンテナを20フィート海上コンテナに収納することで、**安全に保管**。



④汚泥焼却炉

流動床焼却炉により、**土壌も含めて安定的に焼却**。



⑤ガス冷却器

排ガス温度を **200°C** まで冷却。セシウムは固体状態となり焼却灰に吸着。



⑥バグフィルタ

排ガス中の焼却灰（セシウム吸着）を除去。



⑦排煙処理塔

排ガス中の硫酸化物、塩化水素を除去。



⑧灰ホッパ・灰取出装置

灰ホッパから**灰を飛散**させることなく、**安全にフレキシブルコンテナ**に収納。

